

みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

初めての方でも順番予約できます！

「みやはらブログ」も日々更新中！

朝8時から診療しています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00-12:30	●	●	●	/	●	●	/
15:00-18:30	●	●	●	/	●	/	/

インフルエンザ予防接種をしています

予約不要！お一人3000円 3才以上のみ ワクチン供給は昨年並みですお早めに

※東振協の補助金が出る方は10月の早割の適用されませんのであしからずご了承ください。

ワクチンといえば、インフルエンザのシーズンですが、「子宮頸がん」のワクチンを御存じでしょうか？

医学の進歩でがんも予防できる時代になってきたのですが、日の目をみていない治療もあるのです。耳鼻科の領域ではないのですが、当院では幼稚園や保育園、小学生から中学生高校生の患者さんも多いので、その子たちに価値のある治療ということで今回ご紹介したいと思います。

「子宮頸がんのワクチン」というのは、子宮頸がんの原因になるウィルスの感染を防ぐワクチンです。最近の研究で子宮頸がんの多くはヒトパピローマウイルス（以下HPVと略）が原因であることがわかってきました。HPVの主な感染経路は性的接触です。HPV自体はありふれたウィルスで性交渉をしたことのある女性で50～80%は感染することがあるといわれています。性交渉のある女性には誰にでも子宮頸がんができる可能性があるということになるのですが、HPVは感染しても多くの人は短い期間しか感染せず、たまたま長く感染した女性のごく一部の方が子宮頸がんになることがあるのです。

それで、ウィルスが原因ならウィルスの感染を防ぐワクチンをつくらう！ということでワクチンが開発されました。このワクチンはもうHPVに感染している人には効かず、HPVに感染していない人のみに効果があるのです。HPVは性的接触がなければ感染しない、言い換えると初めての性交渉を経験する前に接種すると有効なのです。

世界保健機関（以下WHOと略）は世界中の最新データを分析して、HPVワクチンは極めて安全であるという結論を発表しています。ただし、HPVワクチンはインフルエンザワクチンなどと違い筋肉に打つ注射なので注射した部位の一時的な痛みや腫れといった症状は接種した80%の方におこります。また若い女性の場合、注射の時の痛みや不安のために迷走神経反射で失神をおこすことも頻度は少ないですがあります。

当院のインフルエンザの予防接種のメリット！

耳鼻科の診察も一緒に受けれます。

「耳あかが気になる・・・」「鼻水が出ている・・・」

そんな方は予防接種の時に一緒に治療が受けれます！

耳や鼻やのどでお困りのことがあれば一緒に悩みを解決してしまいましょう！

ただ、昨年11月に厚生労働省が、痛みや運動障害についてはHPVワクチンの接種との関係はないという見解を発表しています。

日本産婦人科学会では、先進国の中で日本だけ将来子宮頸がんが子宮を失ったり命をお落としたりするという事にならないようにするためにHPVワクチンの接種は必要としています。

HPVワクチンの接種に積極的に取り組んでいるオーストラリアでは先月発表した研究でオーストラリアが世界で最初に子宮頸がんを撲滅する見通しとなりました。オーストラリアでは子宮頸がんは2022年までにまれな病気となるのです。

また、フィンランドでの最近の研究ではHPVに関連しておこる子宮頸がんがワクチンを接種した人たちには全く発生していないということです。

さらに日本でも大阪府や新潟県の研究でHPVワクチン接種を受けた人たちのHPVの感染率の低下がすでに報告されています。

HPVワクチンにはサーバリックスとガーシダルという2種類のタイプがあり、ガーシダルは子宮頸がんだけでなく、外陰がん、膣がん、コンジローマも予防できます。

これだけ接種の効果がありながら、日本では接種後の体調不良が心配ということで、国も「接種の積極的勧奨」を差し控える状況となっています。

WHOでは平成27年の声明の中で、若い女性が本来予防し得るHPV関連がんのリスクにさらされている日本の状況を危惧し、安全で効果的なワクチンが使用されないことにつながる日本の政策は、真に有害な結果となり得ると警告しています。

日本産婦人科学会はHPVワクチン接種の積極的勧奨の再開を国に対して求める声明を4回出しています。

HPVワクチンについて根拠のある話は日本産婦人科学会が確実ですので、詳しくは「HPVワクチン 日本産婦人科学会」で検索して「**子宮頸がん**と**HPVに関する正しい理解のために**」というコンテンツをご覧ください。

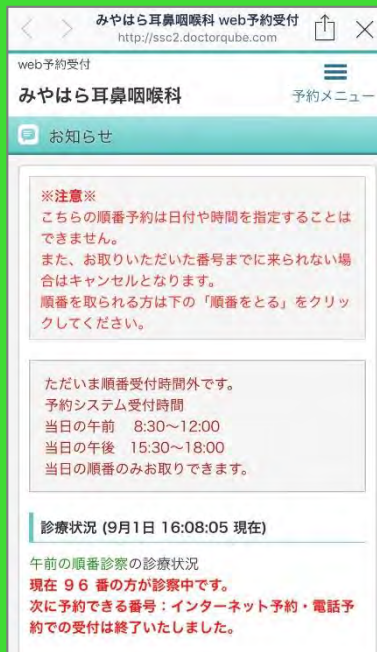
そして万一接種後に重篤な有害事象が発生した場合は、予防接種法に基づく救済制度の申請は可能で、因果関係の審査の後、必要な補償が受けられる可能性があります。

なお、岡山市では中学一年生から高校一年生（満13才から満16才まで）の方は「無料」で接種が受けられます。本来は3回合計で6万円くらいかかります。

接種間隔は2回目はワクチンの種類によって違って1か月後もしくは2か月後、3回目は1回目の接種から半年後となっています。

年頃の娘さんがおられるご家庭はぜひ一度産婦人科で相談されることをお勧めします。

LINEで診療の順番予約が取れるようになりました！



とっても
便利ですよ～

QRコードを読むだけの
簡単登録はこちらから

